



私の養殖への係わり

皆さまにオーストラリアからご挨拶させていただきます。アントニオモズケイラーと申します。私は海洋水産物養殖の学士をメキシコで取りました。日本の文部省留学制度で三重大学でサイエンスの修士も取ることができました。メインの研究はクロアワビの養殖でした。

偶然にも日本留学中にオーストラリア人と結婚する機会があり、その後豪州で民間、政府機関で養殖事業に関わってきました。現在は一時養殖関連事業を離れて、キャンベラ政府でキャンベラ地域の気候変動政策の部門のマネージャーをしております。

今回、現在アワビの陸上養殖を実施している北日本水産様へのアワビの養殖において豪州産の餌を正しく、効果的に使って頂くために再度日本を訪問することになり、とても光栄に思います。

私の職歴の中心は海洋水産物の養殖事業で、特にアワビ・ウニについては個人的にも興味があります。豪州の政府、民間の水産養殖産業育成に強いニーズがありました。

私の養殖事業の基本となる教育は日本の大学に由来しますので、日本の陸上養殖業界の発展のために貢献できることは大変嬉しく思っています。

私がビクトリア州にある大きな民間の養殖施設のアワビ孵化の設備の立ち上げをしていた時に、JIFAS の谷口さん、当時日本の豪州大使館に勤務していた小山さんと知り合いになりました。これが縁で、現在に至るまで日本のアワビ、ウニの陸上養殖のお手伝いをしてきました。

豪州のアワビ養殖技術は設備、餌ともに最先端を行っております。アワビについて申し上げますと、その種類、特徴、養殖内環境に合わせた色々な設備、餌を開発しております。是非とも情報を共有できれば幸いに思います。

アワビの種類、生態に合わせた異なる養殖施設の例 白髭ウニの子供

